

作物名	使用目的	使用濃度	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジベレリンを含む農薬の総使用回数
ぶどう(ヒムロッドシードレスを除く2倍体米国系品種)[無核栽培]	無種子化、果粒肥大促進	第1回目ジベレリン 100ppm、第2回目ジベレリン75～100ppm	果房散布の場合は30～100L/10a	満開予定日約14日前(第1回目)及び満開約10日後(第2回目)	2回、但し降雨等により再処理を行う場合は合計4回以内	第1回目:花房浸漬 第2回目:果房浸漬又は果房散布	2回、但し降雨等により再処理を行う場合は合計4回以内
ぶどう(ヒムロッドシードレス)	果粒肥大促進	ジベレリン 100ppm	-	着粒後	1回、但し降雨等により再処理を行う場合は合計2回以内	果房浸漬	1回、但し降雨等により再処理を行う場合は合計2回以内
ぶどう(デラウェア)[無核栽培]	無種子化、果粒肥大促進	第1回目ジベレリン 100ppm、第2回目ジベレリン75～100ppm	果房散布の場合は30～100L/10a	満開予定日約14日前(第1回目)及び満開約10日後(第2回目)	2回、但し降雨等により再処理を行う場合は合計4回以内	第1回目:花房浸漬 第2回目:果房浸漬又は果房散布	2回、但し降雨等により再処理を行う場合は合計4回以内
		第1回目ジベレリン 100ppm、第2回目ジベレリン75～100ppm		満開予定日18～14日前(第1回目)及び満開約10日後(第2回目)		第1回目:花房浸漬(ホルクロルフェニユロン1～5ppm液に加用)第2回目:果房浸漬又は果房散布	
ぶどう(キャンベルアーリーを除く2倍体米国系品種)[有核栽培]	果粒肥大促進	ジベレリン 50ppm	-	満開10～15日後	1回、但し降雨等により再処理を行う場合は合計2回以内	果房浸漬	1回、但し降雨等により再処理を行う場合は合計2回以内
ぶどう(キャンベルアーリー)[有核栽培]		ジベレリン 50ppm					
ぶどう(キャンベルアーリー)[有核栽培]	果房伸長促進	ジベレリン3～5ppm	30～100L/10a	満開予定日約20～30日前(展葉3～5枚時)	1回	花房散布	2回以内、但し降雨等により再処理を行う場合は合計3回以内
ぶどう(2倍体欧州系品種)[無核栽培]	無種子化、果粒肥大促進	第1回目ジベレリン25ppm 第2回目ジベレリン25ppm	-	満開時～満開3日後(第1回目)及び満開10～15日後(第2回目)	2回、但し降雨等により再処理を行う場合は合計4回以内	第1回目:花房浸漬 第2回目:果房浸漬	3回以内、但し降雨等により再処理を行う場合は合計5回以内
		ジベレリン 25ppm		満開3～5日後(落花期)	1回、但し降雨等により再処理を行う場合は合計2回以内	花房浸漬(ホルクロルフェニユロン 10ppm液に加用)	
	果房伸長促進	ジベレリン3～5ppm	30～100L/10a	展葉3～5枚時	1回	花房散布	

作物名	使用目的	使用濃度	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジベレリンを含む農薬の総使用回数
ぶどう(ヒロハ ンブルグを除 く2倍体欧州 系品種)[有核 栽培]	果粒肥大促 進	ジベレリン 25ppm	-	満開10～20日 後	1回、但し降 雨等により 再処理を行 う場合は合 計2回以内	果房浸漬	1回、但し降雨 等により再処 理を行う場合 は合計2回以内
ぶどう(ヒロハ ンブルグ)[有 核栽培]		ジベレリン50 ～100ppm	果房散布の 場合は70～ 80L/10a	満開10～15日 後		果房浸漬又は 果房散布	
ぶどう(キング デラ、ハニー シードレス、 BKシードレス を除く3倍体 品種)	着粒安定、 果粒肥大促 進	第1回目ジベ レリン25～ 50ppm第2回 目ジベレリン 25～50ppm	-	満開時～満開3 日後(第1回目) 及び満開10～ 15日後(第2回 目)	2回、但し降 雨等により 再処理を行 う場合は合 計4回以内	第1回目:花房 浸漬 第2回目: 果房浸漬	3回以内、但し 降雨等により 再処理を行う 場合は合計5回 以内
	果房伸長促 進	ジベレリン3～ 5ppm	30～ 100L/10a	展葉3～5枚時	1回	花房散布	
ぶどう(BK シードレス)	着粒安定、 果粒肥大促 進	第1回目ジベ レリン25～ 50ppm第2回 目ジベレリン 25～50ppm	-	満開時～満開3 日後(第1回目) 及び満開10～ 15日後(第2回 目)	2回、但し降 雨等により 再処理を行 う場合は合 計4回以内	第1回目:花房 浸漬 第2回目: 果房浸漬	2回以内、但し 降雨等により 再処理を行う 場合は合計4回 以内
		ジベレリン 100ppm		満開3～6日後	1回、但し降 雨等により 再処理を行 う場合は合 計2回以内	花房又は果房 浸漬	
ぶどう(キング デラ)	着粒安定、 果粒肥大促 進	第1回目ジベ レリン50ppm 第2回目ジベ レリン50～ 100ppm	果房散布の 場合は50～ 100L/10a	満開時～満開3 日後(第1回目) 及び満開10～ 15日後(第2回 目)	2回	第1回目:花房 浸漬 第2回目: 果房浸漬又は 果房散布	2回
ぶどう(ハニー シードレス)		ジベレリン 100ppm	-	満開3～6日後	1回、但し降 雨等により 再処理を行 う場合は合 計2回以内	花房又は果房 浸漬	1回、但し降雨 等により再処 理を行う場合 は合計2回以内

作物名	使用目的	使用濃度	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジベレリンを含む農薬の総使用回数	
ぶどう(サニールージュを除く巨峰系4倍体品種)[無核栽培]	無種子化、果粒肥大促進	第1回目ジベレリン12.5～25ppm、第2回目ジベレリン25ppm	-	満開時～満開3日後(第1回目)及び満開10～15日後(第2回目)	2回、但し降雨等により再処理を行う場合は合計4回以内	第1回目:花房浸漬 第2回目:果房浸漬	3回以内、但し降雨等により再処理を行う場合は合計5回以内	
		ジベレリン25ppm		満開3～5日後(落花期)		花房浸漬(ホルクロルフェニロン10ppm液に加用)		
	無種子化	ジベレリン12.5～25ppm		満開時～満開3日後	1回、但し降雨等により再処理を行う場合は合計2回以内	花房浸漬(満開10～15日後にホルクロルフェニロンによる果粒肥大促進処理を行うこと)		
	果房伸長促進	ジベレリン3～5ppm		30～100L/10a	展葉3～5枚時	1回		花房散布
ぶどう(サニールージュ)[無核栽培]	無種子化、果粒肥大促進	第1回目ジベレリン12.5～25ppm、第2回目ジベレリン25ppm	-	満開時～満開3日後(第1回目)及び満開10～15日後(第2回目)	2回、但し降雨等により再処理を行う場合は合計4回以内	第1回目:花房浸漬 第2回目:果房浸漬	3回以内、但し降雨等により再処理を行う場合は合計5回以内	
		ジベレリン25ppm		満開3～5日後(落花期)		花房浸漬(ホルクロルフェニロン10ppm液に加用)		
	無種子化	ジベレリン12.5～25ppm		満開時～満開3日後	1回、但し降雨等により再処理を行う場合は合計2回以内	花房浸漬(満開10～15日後にホルクロルフェニロンによる果粒肥大促進処理を行うこと)		
	果房伸長促進	ジベレリン3～5ppm		30～100L/10a	展葉3～5枚時	1回		花房散布
	着粒密度低減、果粒肥大促進	第1回目ジベレリン25ppm、第2回目ジベレリン25ppm			満開予定日14～20日前(第1回目)及び満開10～15日後(第2回目)	2回、但し降雨等により再処理を行う場合は合計4回以内		第1回目:花房浸漬(ホルクロルフェニロン3ppm液に加用)、第2回目:果房浸漬

作物名	使用目的	使用濃度	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジベレリンを含む農薬の総使用回数
ぶどう(巨峰)[有核栽培]、ぶどう(ルビーロマン)[有核栽培]、ぶどう(ハニービーナス)[有核栽培]	果粒肥大促進	ジベレリン25ppm	-	満開10～20日後	1回、但し降雨等により再処理を行う場合は合計2回以内	果房浸漬	1回、但し降雨等により再処理を行う場合は合計2回以内
ぶどう(高尾)、ぶどう(ふくしずく)		ジベレリン50～100ppm		満開時～満開7日後		花房又は果房浸漬	
ぶどう(あづましずく)		第1回目ジベレリン25～50ppm、第2回目ジベレリン50ppm		満開時(第1回目)満開4～13日後(第2回目)		果房浸漬	
かんきつ(苗木、ただし、温州みかんを除く)	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン25～50ppm	50～250L/10a	12～3月	1回	立木全面散布又は枝別散布	1回
かんきつ(不知火、ぼんかん、かぼす、はるみ、ワシントンネーブル、日向夏、すだち、平兵衛酢、長門ユズキチ(無核)、温州みかん、きんかんを除く)		ジベレリン25～50ppm		収穫直後～収穫約1ヵ月後			
	落果防止	ジベレリン25～50ppm	50～100L/10a	開花始め～満開10日後		散布	
不知火、はるみ	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン2.5ppm	200～700L/10a	収穫後～3月	1回	立木全面散布又は枝別散布(マシン油乳剤60～80倍液に加用)	3回以内
		ジベレリン25～50ppm	50～250L/10a	収穫直後～収穫約1ヵ月後		立木全面散布又は枝別散布	
	落果防止	ジベレリン25～50ppm	50～100L/10a	開花始め～満開10日後		散布	
	水腐れ軽減	ジベレリン0.5～1ppm	50～500L/10a	着色終期 但し、収穫7日前まで		果実散布	

作物名	使用目的	使用濃度	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジベレリンを含む農薬の総使用回数
ぼんかん	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン25～50ppm	50～250L/10a	収穫直後～収穫約1ヵ月後	1回	立木全面散布又は枝別散布	1回
	落果防止	ジベレリン25～50ppm	50～100L/10a	開花始め～満開10日後		散布	
	水腐れ軽減	ジベレリン0.5ppm	50～500L/10a	着色始期～4分着色期 但し、収穫21日前まで		果実散布	
長門ユズキチ(無核)	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン25～50ppm	50～250L/10a	収穫直後～収穫約1ヵ月後		立木全面散布又は枝別散布	
	落果防止	ジベレリン25～50ppm	50～100L/10a	開花始め～満開10日後		散布	
	着果安定	ジベレリン50ppm		開花期～開花終期		花又は果実散布	
	果皮の緑色維持	ジベレリン10～25ppm	50～400L/10a	収穫予定14～30日前		果実散布	
すだち	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン25～50ppm	50～250L/10a	収穫直後～収穫約1ヵ月後		立木全面散布又は枝別散布	
	落果防止	ジベレリン25～50ppm	50～100L/10a	開花始め～満開10日後		散布	
	果皮の緑色維持	ジベレリン5～25ppm	50～400L/10a	収穫予定7～30日前		果実散布	
平兵衛酢、かぼす	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン25～50ppm	50～250L/10a	収穫直後～収穫約1ヵ月後	立木全面散布又は枝別散布		
	落果防止	ジベレリン25～50ppm	50～100L/10a	開花始め～満開10日後	散布		
	果皮の緑色維持	ジベレリン10～25ppm	50～400L/10a	収穫予定14～30日前	果実散布		
ワシントンネーブル	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン25～50ppm	50～250L/10a	収穫直後～収穫約1ヵ月後	立木全面散布又は枝別散布		
	落果防止	ジベレリン500ppm	30～40L/10a	満開10～20日後の幼果期	幼果に散布		
日向夏	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン25～50ppm	50～250L/10a	収穫直後～収穫約1ヵ月後	立木全面散布又は枝別散布		
	無種子化、落果防止	ジベレリン300～500ppm	30～40L/10a	満開7～10日後	果実散布		

作物名	使用目的	使用濃度	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジベレリンを含む農薬の総使用回数
温州みかん (苗木)	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン25 ～50ppm	50～ 250L/10a	11～1月		立木全面散布 又は枝別散布	1回
		ジベレリン 10ppm				立木全面散布 又は枝別散布 (プロヒドロジャスモン 1000～2000 倍液に加用)	
		ジベレリン 2.5ppm	200～ 700L/10a			立木全面散布 又は枝別散布 (マシン油乳剤60 ～80倍液に加用)	
温州みかん		ジベレリン25 ～50ppm	50～ 250L/10a	収穫直後～収 穫約1ヵ月後	1回	立木全面散布 又は枝別散布	3回以内
		ジベレリン 10ppm				立木全面散布 又は枝別散布 (プロヒドロジャスモン 1000～2000 倍液に加用)	
		ジベレリン 2.5ppm	200～ 700L/10a			11～1月 但し、 収穫後	
	落果防止	ジベレリン 10ppm	50～ 100L/10a	開花始め～満 開10日後	散布(プロヒドロ ジャスモン1000～ 2000倍液に加用)		
		ジベレリン25 ～50ppm			散布		
	浮皮軽減	ジベレリン1～ 5ppm	100～ 400L/10a	収穫予定日の3 ヵ月前 但し、収 穫45日前まで	果実散布(プロヒ ドロジャスモン 1000～2000倍 液に加用)		
きんかん	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン25 ～50ppm	50～ 250L/10a	収穫直後～収 穫約1ヵ月後		立木全面散布 又は枝別散布	1回
	落果防止	ジベレリン25 ～50ppm		開花始め～満 開10日後		散布	
	着果安定	ジベレリン 300ppm	30～ 60L/10a	一番花開花期		花に散布	

作物名	使用目的	使用濃度	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジベレリンを含む農薬の総使用回数
びわ(3倍体)	着果安定、 果実肥大促進	第1回目ジベレリン 200ppm、第2 回目ジベレリン 200ppm	-	満開予定日約7 日前～満開時 (第1回目)及び 第1回目処理後 35～60日(第2 回目)	2回	ホルクロルフェニユロン 20ppm液に加え、第1回目:花 房浸漬 第2回 目:果房浸漬	2回
すもも(貴陽)	着果安定	ジベレリン100 ～200ppm	20～ 50L/10a	満開20～30日 後(第1回目) 満 開50～60日後 (第2回目)		果実散布	
かき	落果防止	ジベレリン50 ～200ppm	30～ 100L/10a	満開10日後	1回	幼果及びへた に散布	1回
アセロラ	着粒安定	ジベレリン 25ppm	100～ 400L/10a	開花期	1花当り1回	花に散布	1花そう当り3回 以内
野菜類	発芽促進	ジベレリン50 ～200ppm	-	は種前	1回	種子浸漬	1回
みつば(軟化 栽培を除く)	生育促進	ジベレリン 10ppm	50～ 100L/10a	本葉2～3枚時 (第1回目)とそ の2週間後(第2 回目)但し、収穫 14日前まで	2回	葉面散布	3回以内(種子 への処理は1回 以内、は種後は 2回以内)
みつば(軟化 栽培)		ジベレリン20 ～50ppm		根株伏込時	1回	根株上面に散 布	2回以内(種子 への処理は1回 以内、根株伏込 時は1回以内)
トマト	空どう果防 止	ジベレリン 10ppm	1花房当り5 ml	開花時	1花房当り1 回	花房散布(トマ 落果防止剤と 併用)	種子への処理 は1回、1花房当 り1回
なす	着果数増加	ジベレリン10 ～50ppm	100～ 150L/10a		1回	葉面散布	2回以内(種子 への処理は1回 以内、は種後は 1回以内)
さやいんげん (矮性(促成又は 半促成栽培))	節間伸長促 進	ジベレリン 5ppm	1株当り2ml	本葉0.5～1.5枚 展開時	2回以内	茎頂部散布	3回以内(種子 への処理は1回 以内、は種後は 2回以内)
しそ(花穂)	穂の伸長促 進、花径の 伸長促進	ジベレリン 5ppm	50L/10a	出穂期 但し、収 穫5日前まで		茎葉散布	
いちご(促成 栽培)	着果数増 加、熟期促 進	ジベレリン 10ppm	1株当り5ml	休眠に入る直 前(冬場の低温 期)	1株当り6回 以内	茎葉全面散布	1株当り10回以 内
いちご	果柄の伸長 促進	ジベレリン 10ppm		頂花の出蕾直 後～開花直前	1花房当り1 回	株の中心部に 散布	

作物名	使用目的	使用濃度	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジベレリンを含む農薬の総使用回数
いちご(親株床)	ランナー発生促進	ジベレリン 50ppm	1株当り10ml	採苗時ランナー発生直前～発生初期	1株当り1回	茎葉散布	1株当り1回
メロン	着果促進	ジベレリン 200ppm	1花当り2～5ml	開花前日～翌日	1花当り1回	散布(4-CPA剤50倍液に加用)	種子への処理は1回、1花当り1回
うど(春うど)	休眠打破による生育促進	ジベレリン 50ppm	1株当り20～25ml	伏込時	1回	根株散布	1回
		ジベレリン50～100ppm	-			根株浸漬	
たらのき(促成栽培)	萌芽促進	ジベレリン 50ppm	100～200ml/m ²			駒木散布	
ふき	生育促進	ジベレリン 25ppm	50～300L/10a	葉数3～4枚時(草丈10～30cm頃)		全面散布	
畑わさび	花茎の抽出時期促進及び発生量増加	第1回目ジベレリン100ppm、第2回目ジベレリン100ppm	1株当り2ml	花芽分化後の10月下旬(第1回目)及び第1回目処理後約10日後の11月上旬(第2回目)但し、収穫60日前まで	2回	株の中心部に散布	3回以内(種子への処理は1回以内、は種後は2回以内)
種いも用ばれいしょ	全粒種いもの増収	ジベレリン5～10ppm		植付前		30秒間種いも浸漬	1回
花き類(りんどうを除く)	発芽促進	ジベレリン50～200ppm	-	は種前	1回	種子浸漬	2回以内(種子への処理は1回以内、は種後は1回以内)
りんどう		ジベレリン50～200ppm					
カラー	生育促進	ジベレリン100ppm	50～150L/10a	定植直前または定植1～5週間後	1回	茎葉散布	2回以内
		ジベレリン100ppm	1株当り5～10ml	収穫後		切株散布	
トルコギキョウ	生育促進	ジベレリン50ppm	-	植付時	1回	球根浸漬	1回
		ジベレリン50ppm	50～150L/10a	花茎伸長期		茎葉散布	
ソリダゴ		ジベレリン25ppm	1株当り1ml	活着直後又は萌芽期			

作物名	使用目的	使用濃度	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジベレリンを含む農薬の総使用回数
アイリス	生育促進	ジベレリン50～100ppm	-	植付時	1回	球根浸漬	1回
シクラメン	開花促進	ジベレリン1～5ppm	1株当たり2～5ml	9月中・下旬		花蕾を含む芽の中心部に散布	
プリムラ(マラコイデス)		ジベレリン10～20ppm		11月上旬頃の花蕾出現直後		株の中心部に散布	
スパティフィラム		ジベレリン250～500ppm	30～40L/10a	出荷予定期の2～3ヵ月前		茎葉散布	
みやこわすれ	開花促進、草丈伸長促進	ジベレリン50～100ppm	1株当たり10～15ml	1月中旬の保温開始時から7～10日間隔	3回	葉面散布	3回以内
きく		ジベレリン25～100ppm	50～100L/10a	生育期	2回以内	茎葉散布	2回以内
しらん		ジベレリン50ppm	-	植付時	1回	30分間株浸漬	1回
てっぽうゆり(促成栽培)	休眠打破	ジベレリン1000ppm	低温処理前	30秒間球根浸漬			
アザレア	開花促進	ジベレリン250～500ppm	30～40L/10a	開花予定日約1ヵ月前		茎葉散布	
さつき(施設栽培苗)	茎の伸長促進、花芽分化の抑制	ジベレリン100～200ppm	50～100L/10a	茎の伸長初期～伸長終期(開花盛期以降)1～2週間間隔	3回	頂芽に十分散布	3回以内
さくら(切り枝促成栽培)	休眠打破による生育促進	ジベレリン25～50ppm	50～200L/10a	休眠期	1回	切り枝全面散布	1回
		ジベレリン25～50ppm	-			切り枝浸漬	
すぎ(採種樹)	花芽分化促進	ジベレリン100ppm	1樹当たり300～400ml	6～8月頃の花芽分化期	3回以内	葉面散布	3回以内
		胸高径5cmの樹1本当たり100mg	-	7月上中旬の花芽分化期	1回	樹幹基部剥皮挿入	
ひのき科(採種樹)		ジベレリン200ppm	1樹当たり300～400ml	6～8月頃の花芽分化期	4～5回	葉面散布	5回以内